



6 タイ

地方保健施設整備事業

タイの地方病院に医療機器を供与し 地方における医療サービスの改善に貢献

承諾額／実行額 49億5,900万円／32億5,500万円
 借款契約調印 1996年9月
 借款契約条件 金利2.7%（コンサルティングサービス部分は2.3%）、返済25年（うち据置7年）、一般アントライド
 貸付完了 2002年10月
 実施機関 保健省 URL: <http://eng.moph.go.th>



本事業の目的

地方の公的保健医療施設（96病院）を整備・拡充することにより、地方における保健医療サービスの充実を図り、住民の健康改善に寄与することを目的とする。

本事業実施による効果（有効性・インパクト）評価a

本事業により供与された医療機器のうち、眼科治療器以外の機器は7割以上が毎日使用されており、9割以上が月に1～5回以上の頻度で使用されている。この高い使用頻度から供与された機器は医療ニーズに沿ったものであり、効果的に使用されていると考えられる。医療従事者からは、特にX線機械類、新生児用呼吸器の使用頻度が高いとの意見が寄せられた。受益者調査（65病院対象）では、回答のあった病院の約3分の1が、医療機器導入の効果として「効果的な診断」、「入院期間の短縮」、「地域保健の改善」が確認されている。また、タイ東北部では結石を患つて病院を訪れる患者が多く、その診断に本事業により供与された内視鏡が役立っているとの意見も寄せられている。よって、本事業の実施により一定の効果発現がみられ、有効性は高い。

本事業実施と国家計画等との整合性（妥当性）評価a

本事業の実施は審査時および事後評価時とともに、国家計画等と合致しており、事業実施の妥当性は極めて高い。審査時の医療セクター中期計画では遠隔地居住者・貧困層への医療サービスの拡充が課題として掲げられていた。事後評価時の同中期計画では質の高い医療への国民全員のアクセスを課題としている。地方における医療サービスを担う病院への医療

機器供与を行う本事業は当該中期計画に沿ったものであると判断される。

事業実施の経済性（効率性）評価b

本事業は、事業費については計画内におさまったものの、期間が計画を大幅に上回ったため（計画比240%）、効率性についての評価は中程度と判断される。事業遅延の要因としては、病院側のニーズを反映した供与される医療機器の詳細リスト作成、医療機器の調達に時間を要したことが挙げられる。

今後の展望（持続性）評価a

病院への受益者調査では、供与された医療機器の維持管理について「良好」「ふつう」との意見が大半を占めており、機器の維持管理状況に問題ないと判断される。本事業は実施機関の能力、維持管理体制、財務面ともに問題なく、高い持続性が見込まれる。

結論と教訓・提言

以上により、本事業の評価は非常に高いといえる。病院のマネジメント能力は、供与された機器が有効活用されるかに影響する要素であるが、本事業により医療機器が供与された病院でマネジメント能力が不十分なところもあることが確認された。この課題に対応するためには、医療サービスに従事する職員の人材育成等を目的とする支援を行い、病院の能力強化を図ることが有用と考えられる。

開発途上国専門家の意見

地方では高次医療用の機器は不足しており、本事業は住民のニーズに沿っている。健康保険制度導入等が行われたこともあり、本事業の遅れはむしろ事業効果の発現に好都合であった。

専門家の氏名: Mr. Som-arch Wongkhamthong（公的部門）
 東京大学博士（医学・保健学）。現在、バンコク国際病院副理事長。
 専門は開発途上国における医療問題、プライマリー・ヘルス・ケア、国際地域保健、開発途上国とエイズの問題。

本事業の医療サービス向上へのインパクトにかかる受益者調査結果

インパクト（複数回答可）	回答数
効果的な診断	23
入院期間の短縮	21
地域保健サービスの改善	17
医療費用の節約	11
患者が受ける痛みの軽減	5
その他	15